

2022 年度事業計画の点検・評価結果の概要

- ・ 事業計画及び個別計画を、中期計画に掲げられた項目の達成を目標として体系化して作成し、「教育研究等の自己点検及び自己評価実施要領」に沿って、各学科及び事務部門（以下、「各部門」という。）で点検・評価を実施した。
- ・ 各部門では、点検・評価の結果を踏まえて、別記の「改善・見直しの指針」により事業計画の項目及び個別計画の改善・見直しを行い、2023 年度の計画を策定した。
- ・ このうち、事業計画の点検・評価結果の概要は次のとおりである。

〈点検評価結果〉

今後の対応	項目数	主なもの
継 続	62	22 現職看護師の資質向上（看護学研究科） 49 地震等不測の事態への対応、感染症への迅速かつ的確な対応（事務部）
改 善	11	12 観光系科目等を活用し、企業や地域で活躍できる人材養成（言語文化学科） 23 達成感と充実感を持たせる教育（健康栄養学科） 42 「障がい学生支援のガイドライン」に沿った合理的配慮（学生部） 88 校章やスクールカラーを前面に出す（広報室）
見直し	13	36 ディプロマポリシーに関するアセスメント・テストの実施の検討（教務部） 89 HP でのタイムリーな情報発信（広報室）
計	86	※重複分を除く

【別記】改善・見直しの指針

①中期計画の項目

- 評価 ≥ 2.5 の場合：紐づいた事業計画の項目を原則として継続
- $1.5 \leq$ 評価 < 2.5 の場合：紐づいた事業計画の項目の改善を検討
- 評価 < 1.5 の場合：紐づいた事業計画の項目の見直しを検討

②事業計画の項目

- 評価 ≥ 2.5 の場合：紐づいた個別計画を原則として継続
- $1.5 \leq$ 評価 < 2.5 の場合：紐づいた個別計画の改善を検討
- 評価 < 1.5 の場合：事業計画の項目自体又は紐づいた個別計画の見直しを検討

③個別計画の項目

- 評価 ≥ 2.5 の場合：個別計画の具体的施策を原則として継続
- $1.5 \leq$ 評価 < 2.5 の場合：個別計画の具体的施策の改善を検討
- 評価 < 1.5 の場合：個別計画自体又は具体的施策の見直しを検討

2022年度事業計画 点検・評価結果一覧

※対応欄は、紐付いた個別計画または事業計画自体での対応。空欄は「継続」

項目	No.	内 容	担当部署	評価	対応	頁	
前文	1	建学以来引き継いできた基本理念「愛と奉仕」の精神を基軸に、教育、研究等を一層推進	山陽スピリット推進室	4.0		1	
2 教 育 の 充 実	3	豊かな人間力を養う	I R 推進室企画部	3.0		2	
	4	グローバル化の進展、SDGs達成に向けた取組の拡大等に対応、実社会で即戦力となる人材の育成	I R 推進室企画部	2.5	見直し	3	
	6	在学中の学修、就職、就職後のフォローアップまで、きめ細かな学生支援の徹底	I R 推進室企画部	2.5		4	
	7	対面授業の充実、PC等の必携化、ハイブリッド教育の質の向上	I R 推進室企画部	4.0	見直し	5	
	8	カリキュラムの検討、見直し等	教務部	3.5		6	
	9	短大3年コース、新カリキュラムの円滑な実施	I R 推進室企画部	4.0		7	
	10	BYODの導入、ICTを活用した授業の実施の検討	I R 推進室企画部	3.0	見直し	8	
	11・48	海外留学等の奨励を通じて言語運用力の向上、異文化に対する理解	言語文化学科	2.0	改善	9	
	12	観光系科目等を活用し、企業や地域で活躍できる人材の育成	言語文化学科	2.3	改善	10	
	13	企業等で即戦力となり得る人材の養成	生活心理学科	3.0		11	
	14	新カリキュラムへの着実な移行、地域発展を担う人材養成	地域マネジメント学部	4.0		12	
	15	地域企業等との連携、認知度、信頼度の向上	地域マネジメント学部	3.0		13	
	16	国家試験合格率100%の達成	看護学部	3.0		14	
	17	質の高い学生指導を行い、充実した看護実習の実施	看護学部	3.5		15	
	18	母子保健に貢献できる助産師の養成 ※未評価	助産学専攻科	—	見直し	16	
	19	国家試験合格率100%の達成	助産学専攻科	4.0		17	
	20	院生の積極的な学会参加、学会発表	大学院看護学研究科	2.0		18	
	21	CNSの養成	大学院看護学研究科	2.0		19	
	22	現職看護師の資質向上	大学院看護学研究科	4.0		20	
	23	達成感と充実感を持たせる教育	健康栄養学科	2.0	改善	21	
	24・56	プラスワン資格を目指す学生への受験対策指導	健康栄養学科	2.5	改善	22	
	25	栄養教諭採用試験合格に向けた対策講座の充実と徹底した受験指導	健康栄養学科	3.0	改善	23	
	26	即戦力を身に付けられる授業の充実、資格取得促進	こども育成学科	3.0		24	
	27・57	3年コースのゆとりの時間を活用したスキルアップ	こども育成学科	2.5		25	
	28	地域活動やボランティア活動への参加	こども育成学科	3.5		26	
	3 研 究 充 実 活 動 の	29	研究倫理教育の受講	研究倫理審査委員会	4.0		27
		30	外部資金の獲得、研究実績を上げる	研究教育開発機構	2.8		28
		31	論文発表、審議会等への参画	研究教育開発機構	1.0		29
32		学内紀要「山陽論叢」の充実 ※未評価	研究教育開発機構	—		30	
33		教育実践・教育内容の研究成果として取りまとめ ※未評価	研究教育開発機構	—		31	
4 学 生 募 集 活 動 の 強 化	74	各学科の強み、進化する学びの取組の周知（全般）	入試部	2.6	改善	32	
	55	各学科の強み、進化する学びの取組の周知（学びや取組の発信）	入試部	2.0	改善	34	
	47・80	独自の奨学制度のアピール	入試部	2.0		35	
	77	高校新卒者の受入れ（全般）	入試部	3.0		36	
	58	高校新卒者の受入れ（高大連携）	入試部	3.0		38	
	75	外国人留学生の受入れ	入試部	1.0	見直し	40	
	76	社会人の受入れ	入試部	1.0		41	
	79	遠隔地へ駐在スタッフ配置等募集体制の強化	入試部	1.5	改善	42	
	78	受験生NAVI、大学案内等での情報発信	入試部	2.0		43	

5 学 生 支 援 の 強 化	34	入学前教育等の充実による専門教育への円滑な移行	教務部	2.5		44
	35	学習意欲、プレゼンテーションの向上	教務部	3.0		45
	5	対話型、問題発見・解決型教育の推進	教務部	3.0		46
	37	基礎学力不足の学生を支援するための各科のサポート	教務部	3.4		47
	36	ディプロマ・ポリシーに関するアセスメント・テストの実施の検討	教務部	3.0	見直し	48
	38	学生サークル活動の支援	学生部	3.0		49
	39	大学祭の盛り上げ	学生部	4.0	改善	50
	40	学生の悩みごと相談への対応	学生部	3.0		51
	41	外国人留学生からの相談等への対応	共生・グローバル推進C	3.0		52
	42	「障がい学生支援のガイドライン」に沿った合理的配慮	学生部	3.0	改善	53
	43	学生が相談しやすい環境整備	キャリアセンター	2.7		54
	46	課外の就職対策講座の充実	キャリアセンター	2.5		56
	44	優良企業等の新規開拓、卒業生のフォローアップ	キャリアセンター	3.3		57
	45	インターンシップや就職イベント等への参加の促進	キャリアセンター	3.0		58
6 地 域 連 携 の 推 進	65	地域と連携した調査研究や連携事業の推進	地域連携推進センター	2.0		59
	66	ボランティア登録制度の普及、情報の周知	学生部	2.0	改善	60
	67	部活、サークル単位でのボランティア活動の奨励	学生部	2.0	改善	61
	68	「リカレント教育計画（仮称）」の策定	I R 推進室企画部	1.0		62
	69	科目等履修生募集の積極的PR	教務部	3.0	改善	63
	70	公開講座等の実施	地域連携推進センター	1.0	見直し	64
7 整 備	73	映像・音響設備等の機器更新、トイレ改修等の環境整備	事務部	2.0		65
	72	A棟のWiFi環境の整備	事務部	2.5		66
	71	旧耐震基準の建物についての改修計画の策定	事務部	1.5		67
8 大 学 運 営 の 強 化	84	学内の会議体の円滑な運営	事務部	4.0		68
	49	地震等不測の事態への対応、感染症への迅速かつ的確な対応	事務部	4.0		69
	50	ハラスメント等の防止	事務部	4.0		70
	86	HP等を通じて積極的な情報公開	大学広報室	4.0		71
	51・85	情報セキュリティ対策の強化	事務部	3.0		72
	52	認証評価の受審を視野に入れた内部質保証の確立、PDCAサイクルの的確な運用	I R 推進室企画部	3.0	改善	73
	54	教学マネジメント充実のための体制整備	I R 推進室企画部	1.0		74
	53	認証評価に対応するため、アセスメント・ポリシー策定の検討	教務部	3.0		75
	59	学内の様々なデータの収集・分析	I R 推進室企画部	4.0		76
	82	職員に目標管理のための業務評価制度導入	事務部	3.0		77
	83	FD・SD研修の実施、学内外の研修による人材育成	I R 推進室企画部・事務部	3.0		78
	2	「Sanyo Heartful Act」の実践	事務部	3.0		79
	87	知名度と認知度向上に向けた情報発信の積極的な展開	大学広報室	3.0	改善	80
	90	工夫した報道発表資料の積極的な提供	大学広報室	2.5	見直し	81
89	HPでのタイムリーな情報発信	大学広報室	1.7	見直し	82	
91	SNSによる情報発信	大学広報室	3.0		83	
88	校章やスクールカラーを前面に出す	大学広報室	3.0	改善	84	
附 属 幼 稚 園	62	豊かな感性や好奇心、表現力、コミュニケーション力等を育む	附属幼稚園	3.0		85
	60	大学や短大等との連携により山陽学園ならではの教育の推進	附属幼稚園	3.0		86
	61	SDGsの理解者や実践者となるための原体験となる保育活動	附属幼稚園	2.0		87
	63	保護者、地域等との連携	附属幼稚園	3.0		88
	64	教員の計画的な研修の実施	附属幼稚園	2.0	改善	89
	81	2歳児体験入園や預かり保育の充実により園児数の確保	附属幼稚園	2.0		90